

「那覇市立小中学校AIドリルシステム導入業務」に係る質問について

R8.1.19回答

No	該当箇所	質問内容	質問に対する回答
1	仕様書 3ページ> 10 基本要件・機能要件	「自動連携等により、名簿および学習データを校務支援システム(C4th)で一元的に管理できるようにすること」との記載がございますが、C4thの校務ダッシュボード上に本事業で導入するAIドリルの活動履歴を表示し、校務間連情報と併せて確認することで、児童生徒の状況を一元的に把握できる環境を構築する必要があるものと認識しております。 当該要件を実現するにあたり、提案システムで別途中間サーバー等の導入が必要となる場合には、見積上限額の範囲内で「本システムの構築費用(初期費用)および運用・保守費用を含む利用料金」に含めてご提案する、という理解で相違ございませんでしょうか。	認識のとおり、連携に必要な環境構築も含めて見積上限額の範囲内でご提案いただることになります。
2	仕様書 3ページ> 10 基本要件・機能要件	「10 基本要件・機能要件」において、「AIドリル機能とテスト機能を有し、別表1『AIドリル要件一覧』にて提示する要件を全て満たすこと」との記載がございますが、万一、導入後に要件未充足が判明した場合は、「13-② 不適合責任」の規定に基づき、無償での改修及び不足機能の提供を行う、という理解で相違ございませんでしょうか。	認識のとおりとなります。
3	Allドリル要件一覧> 児童生徒向け機能> 個別学習>教材	「小学校1～6学年の国語・算数・理科・社会及び中学校1～3学年の国語・数学・理科・社会・英語の教科書単元に対応し～」とありますが、小学校1～2年生では理科と社会は開始されてしまう一方で小学校3年生から外国語活動が開始されるため、「小学校1～2年生の国語・算数・小学校3～6年生の国語・算数・理科・社会・英語、及び中学校1～3学年の国語・数学・理科・社会・英語の教科書単元に対応」する必要があるという理解で良いでしょうか。	仕様書で示したとおり、指定した学年及び教科の教科書単元に対応しており、かつ該当学年以外の内容も学習できることが必要となります。
4	仕様書 3ページ> 4 10 基本要件・機能要件 及びAIドリル要件一覧	「10 基本要件・機能要件」において、「AIドリル機能とテスト機能を有し～」とありますが、Allドリル要件一覧に「教員自身でオリジナル問題を登録できること。」という記載もございます。 そこで、テスト機能においても、教員自身がオリジナルの問題を作成できること、既存のテストから問題をカスタマイズするなど、自由にテスト・問題を作成でき、配点や評価観点も変更できる仕組みを有することが必要という理解で良いでしょうか。	教員自身で問題を組み合わせて配信できるような機能を想定しておりますが、仕様書で示した要件を踏まえ、ご提案ください。
5	別表1「AIドリル要件一覧」> 児童生徒向け機能> 個別学習>出題機能	「教員自身でオリジナル問題を登録できること。」と記載がありますが、先生ご自身で解答形式・問題・ヒント・解説・答えの要素を選択/入力し、単元に紐づけて登録/配信が出来る機能といい認識で相違ございませんでしょうか。	教員自身で問題を組み合わせて配信できるような機能を想定しておりますが、仕様書で示した要件を踏まえ、ご提案ください。
6	その他	貴市のICT環境について、現在Googleの各種サービスをご利用中と認識しております。 そのため、ユーザー(先生およびこども)は、Googleが提供する「Google Classroom」からGoogle Classroomアドオン機能によって「AIドリル」に直接アクセスできる機能を有することが必要だと存じますが、その理解で良いでしょうか。	ご提示あった内容については、仕様書上、要件としておりません。
7	別表1「AIドリル要件一覧	機能要件に記載の「C4thで名簿及び学習データを一元的に管理」について確認です。 協力連携事業者にてC4thとの連携ができるよう対応する方針ですが、連携を実現するにあたり、貴市(またはC4th提供事業者)にてご用意いただく連携手段・仕様(API/ファイル連携/SFTP等)、および利用可能な範囲(名簿・学習データの項目、更新頻度等)をご教示いただけますでしょうか。 また、C4th側で外部システム連携を受け入れるための前提条件(追加費用の有無、申請手続き、環境提供、スケジュール等)がございましたら併せてご教示ください。	システム連携の構築検討にあたっては、以下の内容を条件にご提案ください。 (条件) ・連携にかかる構築費用は、本提案に含むものとします。 ・連携の実装時期は、令和8年4月1日とします。 ・連携手法及び範囲は、事業者提案によるものとします。 ・その他連携に必要な対応は、提案事業者にておこなうものとします(ただし、本市がおこなうことが社会通念上、通常と認められる場合はその限りではありません)。
8	基本事項 データ連携	C4th連携は、「できるようにすること」とありますが、具体的にいつまでにできるようになればよろしいですか?	本システムの稼働開始となる令和8年4月1日までに、C4th連携が可能な環境を構築していただくことになります。